

中央公民館・図書館・郷土資料館の在り方基本構想（案） に対する意見と市の考え方

対応項目

- A：意見を受けて加筆・修正したもの
- B：案に意見の考え方が概ね含まれていたもの
- C：案に意見の考え方が一部含まれていたもの
- D：案に意見の考え方を反映・修正しなかったもの
- E：その他の意見

番号	分類	意見の要旨	対応	市の考え方
1	在り方基本構想策定にあたって	<p>○市が策定する計画は、市民憲章の具現化が基にあり、その内容に触れる必要がある。</p> <p>○平成 28 年度八街市総合教育会議において、郷土資料館として不適格な建物構造と老朽化について様々な意見が出されていたことに触れる必要があるのではないか。</p>	A	<p>目次前</p> <p>○以下のとおり加筆・修正いたします。</p> <p>「教育委員会では、～を対象とし、市民憲章の1つの柱である『郷土を愛し、文化のかおり高いまちにしましょう』の具現化に向け、3つの施設の在り方基本構想を策定するものです。」</p> <p>○今回、八街市総合教育会議での意見も踏まえた検討を進めてまいりました。</p>
2	1-3 市民意見の把握《アンケート結果》	<p>○中央公民館については、ソフト面での意見が多い一方、郷土資料館は現在のプレハブ造というハード面の課題もあることから、まとめの中に盛り込んでおく必要があるのではないか。</p>	D	<p>P. 10</p> <p>○まとめの欄につきましては、あくまでもアンケート結果をとりまとめたうえで多く寄せられたご意見を記載したものであることをご理解ください。</p>
3	3-2 各施設の役割と課題・基本的考え方《図書館》	<p>○蔵書をできるだけ多くしてほしい。また、図書館や公民館に隣接して休息の場所が欲しい。</p>	B	<p>P. 33</p> <p>○基本構想にも記載してありますが、今後も利用者のニーズをとらえ、読書環境の整備や蔵書・資料の充実に努めていきます。</p> <p>○市民アンケートでも「交流スペース」など、誰もが気軽に利用できる場所についての要望があり、ご意見にあるような休息の場所としての活用の可能性も含め検討してまいります。</p>

番号	分類	意見の要旨	対応	市の考え方
4	3-3 各施設の機能・規模 (1) 中央公民館 ②駐車場の規模	○郷土資料館を現在の敷地内に建て直すことがないと受け取れるため、下欄囲み部分の「郷土資料館が敷地外に移転する場合は、駐車場を再編し」を削除する。	D	P. 36 ○当該項目は、3施設の在り方という視点の中でもう一つの大きな課題である駐車場不足に対する可能性を検討したものです。 ○郷土資料館を敷地外に移転することを前提としたものではないことをご理解ください。なお、駐車場の見取り図のうちCブロックの表示については、誤解を避けるため一部修正しました。
5	3-3 各施設の機能・規模 (3) 郷土資料館	○原文では、郷土資料館が将来、縮小するよう取れるため、「当面は、～将来的には、～」の次に「現状の展示物や今後発見された資料などとあわせ」と追加したらどうか。	A	P. 38 ○以下のとおり加筆・修正いたします。 「当面は、～将来的には、現状の展示物や今後発見された資料等とあわせ、復元展示や映像展示など、～」
6	3-3 各施設の機能・規模 (4) 施設の形態	○現状は3館が1か所に集約され、かつ独立した建物で、使い勝手の良い施設である。	B	P. 39 ○施設の形態によってそれぞれ特徴があると考えられるため、施設建替えの際には、現状のような独立施設か複合施設か、両者のメリットやデメリットを踏まえながら、適正な方法を選択していきます。
7	3-4 事業スケジュール	○原文では、郷土資料館の移転を前提とした表現となっているため、「公共用地等に暫定的に移転し、併せて適切な施設を整備します。」としたらどうか。 ○まちの歴史や風土を紹介するのは大切なことであり、一日でも早い郷土資料館の再開を望む。その際、現地に新しく建てることにこだわらず、より近い場所に収集、保管、展示が一元的にできる賃貸物件や他の市の空きスペースなど検討してはどうか。	A	P. 41 ○以下のとおり、加筆・修正いたします。 「中央公民館と図書館は、～郷土資料館については、現在の敷地又は他の公共施設用地等に暫定的に整備するなど、～」 なお、郷土資料館は現在の敷地内・敷地外を限定するものではなく、早急に運用を再開するため、公共用地等に暫定的な移転をし、あわせて適切な施設の整備を目指し、具体的な検討を行います。

番号	分類	意見の要旨	対応	市の考え方
8	3-5 今後の展開	○郷土資料館について、恒久的に使用できる施設整備を確約する表現になっていないため、「公共用地等に暫定的に移転し、併せて適切な施設を整備します。」としたらどうか。	B	P. 42 ○本構想では、3施設の将来を見据えた中で、郷土資料館についても様々な可能性を残しておきたいと考えています。
9	3-5 今後の展開	○社会教育施設の中心となるよう、複合施設としての利用も含め検討してほしい。	B	P. 42 ○今後、市民ニーズや社会状況等の変化も見込まれるため、導入機能や規模、施設の具体的な内容等について、改めて市民のみなさんと意見交換を行うなど、慎重に検討してまいります。
10	その他	○現在の中央公民館や郷土資料館は老朽化し、経費がかさむばかりであるため、今後10か年計画で新たに北口駅前に文化センターを整備し、八街の顔づくりを行うべきである。(800～1,000席のホール、平日は一般利用、週末は有料イベント、郷土資料館・図書館の移転、上層階は飲食等の商業施設、1,000台程度の駐車場など) ○上記施設に中央公民館や図書館、郷土資料館機能を移し、移転後の中央公民館は、臨時の災害避難所として利用する。 ○あわせて、駅を中心としたふれあいバスを充実することで、利便性の向上を図る。 ○これにより市内外から人が多く訪れ、雇用を生み、市に利益をもたらすことが想定される。	E	○ご提案の内容は、今回対象としている「社会教育施設」としての役割を超えたものであると考えます。今後の八街市のまちづくりにおいて、民間事業者の進出可能性も含め、八街市全体で慎重に検討していくべきものであると考えており、貴重なご意見として頂戴いたします。 ○将来的に施設が移転する場合は、施設の後利用の可能性も含め、その活用方法についても検討が必要であると考えます。